

編集後記

特集

不当な暴力から組織的に 身を守る

住民からの暴力防止に組織として取り組むことの重要性
暴力防止マニュアル第2版の作成を通して 平野かよ子

保健師という職業・仕事の特性から来るリスクの理解
法的観点から 野村武司

保健師という職業・仕事の特性から来るリスクの理解
精神医学的観点から 佐野信也

地域保健従事者に対する住民からの暴力被害と対応
実態調査の結果から 鳩野洋子／米澤洋美

教材の活用のすすめ(新任期～中堅期研修用) 中板育美

暴力被害防止に向けて、組織的に取り組む

新宿区の取り組み 松浦美紀／池戸啓子

保健師のクレーム対応のあり方と組織としての対応

伊藤純子ほか

Photo

陸前高田市保健医療福祉未来会議

TOPICS

『公衆衛生実践キーワード』が完成 島田美喜

連載

ナカイト発 保健師へのつぶやき 中板育美

新しい健康日本 21 の取り組み事例 金桝太郎／近藤克則

姫井先生と考える 健康に生き抜くためのヒント 姫井昭男

健康課題としての放射線防護

保健師による実践モデルへのヒント 矢吹敦子

ニュースウォーク 白井正夫

●本号の責了が迫った9月27日、長野と岐阜の県境にある御嶽山が噴火、多くの死傷者が出た。今回の水蒸気爆発は予測が難しかったとの専門家のコメントが出たが、なんらかの警告を出せなかったのか。●ちょうど1週間前の21日、NHKテレビではシリーズ「巨大災害」第4回として「火山大噴火」が放映されていた。ここで警告された噴火はもっと大きなものだが、今回の噴火が無関係とは言えまい。地域の安心と安全のために働く専門家と連携して地域を守るシステムをつくる必要がある。その中で各自がどのような役割を担うことができるかも考えてい。 (杉之尾)

●地域包括ケアは、保健師に限らず、幅広い職種が関わります。それだけに、「専門職として自らがやるべきことは何か」は大きなテーマです。そこで、本特集では保健師の“役割”に焦点を当てました。地域課題の正確な把握が機能的なケアネットワークを構築する大前提だと考えると、保健師が最も力を発揮できる場合は、日常生活圏域におけるニーズ調査や地域ケア会議の開催などにあると個人的に感じました。生活支援や介護予防なども大切ですが、皆さんは自分の役割をどのように捉えているのでしょうか。 (和田)

保健師ジャーナル 第70巻11号 2014年11月10日発行(毎月1回10日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014, Printed in Japan

1部定価:本体1,400円+税

2014年年間購読料(税込,送料弊社負担):冊子版15,420円 冊子+電子版/個人18,420円 冊子+電子版/共有20,700円

電子版/個人15,420円 電子版/共有17,700円

販売部:☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室:☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当:和田/杉之尾/伊藤

Twitter <http://www.twitter.com/hokenshiJ> Facebook <http://www.facebook.com/hokenshiJ>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】 <(社)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。